

2023年

# 6月定例会

6月定例会審議結果 ..... 2

紙上中継 ..... 4

6月定例会一般質問  
(町政をただす) ..... 5

あれからどうなった  
(一般質問のその後は) ..... 16

# 石川町 議会 です

こんにちは

発行／石川町議会

編集／広報常任委員会

新しい事業に挑戦  
県サポート事業  
「みんなの農園」

石川町  
ホームページ



写真／中谷自治センター隣

No. 218

令和5年  
8月1日

# 国民健康 保険税決まる



令和5年度の国民健康保険財政は、前年度の決算剰余金3億8000万円全額を充当しても不足が見込まれることから、税率の引き上げを行います。急激な税率の上昇を抑制するため、国保財政調整基金から1億6000万円を繰り入れます。

◆医療分基礎課税額 医療機関にかかったときの医療費等の給付費用に充てるための財源として納めるもの。

区分	4年度	5年度	比較	
所得割	7.28%	7.21%	▲0.07%	
均等割	20,760円	23,540円	2,780円	
平等割	一般世帯	15,120円	15,890円	770円
	特定世帯	7,560円	7,945円	385円
	特定継続世帯	11,340円	11,918円	578円

◆後期高齢者支援金課税額 75歳以上の医療保険である後期高齢者医療制度を支援するため、その医療費等の財源の一部として納めるもの。

区分	4年度	5年度	比較	
所得割	2.55%	2.57%	0.02%	
均等割	7,280円	8,410円	1,130円	
平等割	一般世帯	5,300円	5,680円	380円
	特定世帯	2,650円	2,840円	190円
	特定継続世帯	3,975円	4,260円	285円

◆介護納付金課税額 介護保険制度の財源として、40歳以上65歳未満の加入者（介護保険第2号被保険者）が納めるもの。

区分	4年度	5年度	比較
所得割	2.28%	2.16%	▲0.12%
均等割	8,440円	9,200円	760円
平等割	4,550円	4,620円	70円

※所得割：加入者の所得に応じて課税します。  
 ※均等割：加入者1人につき、定額で課税します。  
 ※平等割：加入者数に係わりなく、1世帯につき、定額で課税します。

6月定例会は令和5年6月1日から8日までの8日間の会期で開かれ、条例案件5件、補正予算1件、人事案件1件、請願1件、議員発議1件の合計9件を審議しました。  
 一般質問には、10人の議員が登壇し、町政を問いました。また、会期中には、54人の傍聴がありました。

電気・ガス・食料品等  
 価格高騰緊急支援給付金  
 事業に4196万4千円  
 中小企業等事業継続緊急  
 支援事業に6768万7  
 千円、自治体DXを推進

一般会計補正予算  
 の主なもの  
 非課税世帯等への生  
 活支援、町内事業者  
 への事業支援決まる

- 泉 利夫 (梁瀬)
- 根本常和 (沢井)
- 野内 誠 (新屋敷)
- 鈴木義延 (板橋)
- 永沼善恵 (山形)
- 岩谷金良 (中山)
- 大串政一 (北山)
- 近内貞夫 (塩沢)
- 黒崎佳奈 (双里)

石川町農業委員会委員  
 の任命について、全員異  
 議なく同意しました。

石川町農業委員会  
 委員の任命に同意

# 議案・請願・発議 審議結果

する取り組みとして、道  
路台帳図・都市計画基本  
図デジタル化事業に1億  
400万円などを増額し  
たものです。

議案番号	議案・請願・発議	審議結果		
議案 第36号	石川町税条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第37号	平成23年3月11日東北地方太平洋沖地震による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第38号	石川町税特別措置条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第39号	石川町重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
議案 第40号	令和5年度石川町一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全	員
議案 第41号	石川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全	員
請願 第2号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採	択	全 員
議案 第42号	石川町農業委員会委員の任命について	同	意	全 員
発議 第3号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	原案可決	全	員

## 5月臨時会

令和5年5月1日に開催された臨時会では、専決処分2件、補正予算1件、契約締結1件が審議されました。

### 【専決処分】

新型コロナウイルスワクチンの追加接種に係る経費について、国庫支出金を財源に7658万9千円を増額。

また、田村広域行政組合が令和5年3月31日に解散したことに伴う、福島県市町村総合事務組合規約の一部変更等。

### 【補正予算】

国の原油価格・物価高騰対策として実施する子育て世帯生活支援特別給付事業に、国庫支出金を財源として、492万3千円を増額。

### 【契約締結】

石川町立歴史民俗資料

館移転改修電気機械設備工事について、指名競争入札の結果、1億373万円で㈱ナカジマエレテックが落札したため、工事請負契約を締結。

## 賛否の討論

### ○審議結果

【反対】 燃料代や電気代など、すべてが上がっている昨今、今回の工事に町民の理解が得られるとは思えません。この工事を塩漬けにしても、町民を救うべきです。反対します。（藤島一浩）

【賛成】 今回の電気工事を含め、工事の内容は事前に説明されています。建物の取得から改修の時も、議員、町民の意見を反映しながら協議をすすめてきていることから賛成します。（根本重泰）

議案番号	議案名	乾初美	藤島一浩	菊池美知男	根本重泰	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	下山和雄	渡辺実	瀬谷京子	関根信次	矢内義将	近内雅洋	草野伝明	審議結果
議案 第32号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度石川町一般会計補正予算-第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案 第33号	専決処分の承認を求めることについて（福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案 第34号	令和5年度石川町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第35号	石川町立歴史民俗資料館移転改修電気機械設備工事請負契約の締結について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛12、反1)

3

審議の経過については、[こちら](#)をご覧ください。▶ 5月臨時会



6月定例会  
(初日)



6月定例会  
(最終日)





## 予算審査特別委員会

### ■都市計画経費（1億400万円）

**Q** 今、これほどの予算をかけて都市計画基本図を整備する必要があるのか。

**A** 現在、町が管理している都市計画基本図は、昭和から平成の初めの頃に紙に印刷したものとして整備し、当時の情報のまま大部分が更新されていない状態となっています。

今回の事業では、家屋、道路等を含めた本町の地形について、昨年度、こおりやま広域圏の連携事業において撮影した最新の航空写真を元に、汎用性の高いデ

ジタルデータとして都市計画基本図を整備するものです。

さらに、整備した地図は、オープンデータとしてインターネットでの公開を目指しています。

なお、町の財源のみで行った場合、分割して中長期的に整備せざるを得ませんが、今回、国が積極的に推進しているデジタル田園都市国家構想に関する交付金を活用し、短期間に一括して整備を図るものです。

**Q** 整備することで、

住民にどんなメリットがあるのか。

**A** 具体的には、都市計画情報や道路の情報をはじめ、スクールバスの運行経路、ごみステーション、消火栓等の位置情報など、行政が管理している情報のうち地図を使って提供すべき情報が、デジタル化することにより正確かつ迅速に提供できるようになります。また、スマートフォンとのGPS機能と連携することで、現地と行政情報をリンクさせることが容易になります。

## 5月臨時議会本会議

### ■新型コロナウイルスワクチン

#### 接種費用専決処分を採択

新型コロナウイルスは2類から5類となり、インフルエンザと同様の扱いになりましたが、いまだに収束しておりませ

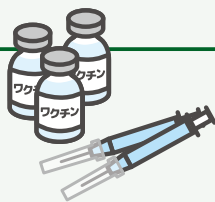
ぬ。ワクチン接種に係る費用は全額、国の補助金で賄われるもので、その内訳は次の通りです。

接種対象者 5,000名

- ①接種体制整備費  
(通知発送、コールセンター、会場設営など)  
23,719千円
- ②接種経費 (接種委託料等)  
50,870千円
- ③職員超過勤務手当  
2,000千円

合計 76,589千円

※(ワクチン代金は含まれません)



# 一般質問 町政をたただす

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをたただすもので、定例会に限って行われます。今回は10名が登壇しました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。(質問の一部を割愛しています。)  
詳細については、各議員のタイトル横の二次元コードを読み込むと、録画映像をご覧いただけます。

## 菊池美知男 議員

P6

- ◆本町における健康長寿の取り組み
- ◆まちなかの賑わい創出
- ◆町税等の適正・公平な確保



## 下山田和雄 議員

P7

- ◆第6次総合計画の達成度
- ◆人口減少社会におけるまちづくり
- ◆まちなかに拠点を ◆持続可能な行財政運営



## 根本 重泰 議員

P8

- ◆自治センターの指定管理
- ◆観光物産協会の法人化
- ◆ミニデイサービスと各地区の運動教室



## 渡辺 実 議員

P9

- ◆保育所の適正な運営と保育士増員
- ◆石川地方生活環境施設組合最終処分場埋め立て完了後の整備
- ◆旧雇用促進住宅跡地の若者用住宅への活用
- ◆水郡線存続に向けた取り組み



## 増子美知夫 議員

P10

- ◆少子化や、出生、子育て支援に係る施策
- ◆新たな「石川町財政計画」の策定
- ◆石川町第6次総合計画「後期基本計画」の策定



## 乾 初美 議員

P11

- ◆こども家庭庁の発足と本町における体制整備
- ◆ふるさと納税の現状と課題
- ◆脱炭素社会と再生可能エネルギーを活用した持続可能な町づくり



## 瀬谷 寿一 議員

P12

- ◆水道未給水区域の「井戸給水施設等整備事業」の見直し
- ◆石川郡の急激な人口減少と広域行政(連携を含む)の拡大
- ◆子どもによる角田市、荒川区との交流推進



## 小木 芳郎 議員

P13

- ◆林業の振興
- ◆安全・安心につながるスクールバス停留所の設置等



## 瀬谷 京子 議員

P14

- ◆中学校部活動の地域移行
- ◆石川放課後児童クラブ



## 関根 信次 議員

P15

- ◆町道等の計画的な整備
- ◆遊休農地の解消・活用
- ◆農家負担の軽減





質問者の動画が見られます

**Q** 町が行っている各運動教室への参加者にアンケートを取り、意向調査をしていると思うが、どのように反映しているのか

**A** 参加人数等を考慮しながら、教室の内容を変更するなど工夫しています



きくちみちお 議員  
菊池美知男

肥満より怖い運動不足

◆健康長寿の取り組み

**質問** 健康運動教室を実施している公共施設は、夏は暑く、冬は寒い。対策は。

**答弁** 冬季は実施しないなど工夫してきましたが、年間を通じて運動することが望ましいので、まずは現状把握に努めたいです。

**質問** 令和2年の平均寿命ランキングでは、福島県は男女ともにワースト2位、3位で



健康寿命100歳をめざして！

ある。健康長寿に対する町の具体的な取り組みは。

**答弁** 適切な食事、適切な運動、社会参加が重要です。こうしたものをすべて含め、地域全体で取り組む事業として地域包括ケアシステムを推進し、健康長寿のまちづくりを進め

ていく考えです。

**質問** 新型コロナウイルス感染症5類移行後、町独自で感染者数を集計する考えは。

**答弁** 感染者数については、郡医師会と連携して把握しております。

◆まちなかのにぎわい創出

**質問** 道の駅ゲートウェイ機能による誘導策は。

**答弁** 道の駅でシヨップカードや周遊券の配布を行い、まちなかへ誘導する考えです。

**質問** 旧企業跡地を活用し、駅前を開発する考えは。

**答弁** 旧企業跡地については、地権者にアンケート調査を行い、今後の方向性について検

討します。

**質問** 「行きたい」、「住みたい」と思えるようなまちづくり。

**答弁** 駅前やまちなかにぎわい創出については要望もあります。多くの方々とワークシヨップを通して方向性を決めていきたいです。

◆町税等の適正・公平な確保

**質問** 税の広域徴収を行う考えは。

**答弁** 広域徴収を行っている自治体はありますが、各町村における人員確保や負担調整が課題と考えております。

**意見** 広域徴収を実施している市町村の徴収率は高い実績がある。広域的な徴収体制を早期につくり、税の公平確保を図るべきである。



質問者の動画が見られます

# Q 第6次総合計画の達成度について

## A 本計画は着実に進展しているものと考えております



しもやま だ かず お  
**下山和雄** 議員

**質問** 前期基本計画の達成度。

**答弁** 毎年ローリング方式で実施計画を見直し適時適切な施策を講じてきて着実に進展しています。

**質問** 将来像達成に向けた施策の実施状況。

**答弁** 「共に創る幸せ実現のまち」を本町の将来像として、6つの基本目標と33の施策を掲げ、住民福祉の維持向上に向け、各種施策を実施してきたほか、道の駅や認定こども園、また歴史民俗資料館整備、浄水場改修事業など、大規模事業も推進

しています。

◆人口減少社会におけるまちづくり

**質問** 地域活動に対する支援の考えは。

**答弁** 自治センターの運営や自治協議会への支援を通じて、課題の解決を図っていきます。

**質問** 高齢化が進み地域活動が困難な地区については、町としてどのように支えていくのか。

**答弁** 各地域によって形態が違うので、地域と協議しながら検討してまいります。

**質問** 公共交通網維持の取り組みについて伺う。

**答弁** 沿線の関係市町村と検討しながら対応していきます。

**質問** 駅前の活性化。



地域の課題を協議

**答弁** 若者ワークショップ等を開催しながら駅周辺の旧工場跡地なども含め、駅前全体の活性化について検討していきたいと考えています。

◆まちなかに拠点を

**質問** 石川自治センターをまちなかの拠点施設として、若者や高齢者が集える施設整備を。

**答弁** 石川自治センターの今後の在り方については、検討してい

かなければならない課題と認識しています。

**質問** 空き店舗の利活用。

**答弁** 町としては、一店舗でも多く操業いただける方の創出を図るとともに支援を継続していきたいと考えています。

◆持続可能な行財政運営

**質問** 広域的な行財政運営を目指してほしい。

**答弁** 医療など広域的にできるものは可能な限り取り組んでいきたいと考えています。

**質問** 石川郡の医療協議会との話し合いを行っているのか。

**答弁** 今年度は6月に医療協議会を開催し、地域医療の課題等を検討したいと考えています。

# Q 石川町観光物産協会の法人化はいつ



質問者の動画が見られます

## A 令和6年4月1日から本格稼働する考えです



ねもと しげやす  
**根本 重泰** 議員

観光物産協会・自治センターの新しい挑戦が楽しみです

**質問** 観光物産協会に期待することは。

**答弁** 地域資源を最大限に活用し、地場産品や体験プログラムをはじめとする観光ビジネスのほか、町内の原材料の活用や雇用を重視した取り組みで、地域の稼ぐ力を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成することです。観光地域づくりの司令塔としての、地域経済活性化の一翼を担う組織になることを期待して

おります。

**質問** 観光基本条例があるという事は、町が支援する証ではないか。

**答弁** 本町では、条例及び計画等が未整備の状況です。法令や計画の整備も併せて検討してまいります。



石川町を売りだすプロ集団に

**質問** 自治センターの指定管理導入はいつから。

**答弁** 全センター同時ということではないですが、令和6年4月1

日からスタートできるように進めています。

**質問** 指定管理者制度で期待することは。

**答弁** 運営や活動、職員の人材確保など、あらゆる面で自主性が発揮できるものと考えています。

**質問** 運営に不安を感じているが。

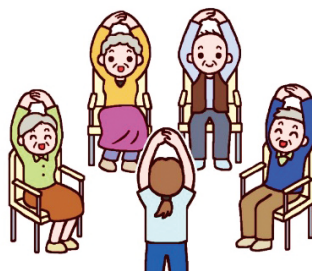
**答弁** 関係者には専門的な研修を受けていた



地元の高齢者からお子さんも参加

中谷自治協議会 県サポート事業「みんなの農園」  
\*遊休地の活用・都市部との体験交流・農産物の生産活用\*

だき、その成果を生かせるようにしていきたいと考えています。



早く日常生活を取り戻したいですね

**質問** ミニデイサービス、サロンの送迎問題について。

**答弁** 送迎については、各地区のボランティアの方にお願ひしていましたが、地域によっては、送迎する方も高齢になるなど送迎に対して不安の声が上がっています。

そうしたことから、今年、町の公用車を利用するなど、各地区に合ったお手伝いの方をを検討しているところです。



# Q 子どもの人権が尊重される保育の実現に向けての対応は



質問者の動画が見られます

## A 国で定めた「保育所保育指針」に基づき対応していく



わたなべ みのる 渡辺 実 議員

**質問** 今年5月、こども家庭庁は保育所で914件の「不適切保育」があったとして、公表した。本町にはなかったのが安心した。町の対応は。

**答弁** 注意喚起を行い、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待が行われないよう確認しました。

**質問** 会計年度任用職員ではなく正職員配置の考えは。

**答弁** 入所する児童数は、その年によって増減し、必要となる保育士数も児童数に応じて変わるため、会計年度

任用職員を雇用し対応しております。正職員については、入所児童数の推移を見極めながら計画的に配置したいと考えています。

**質問** 児童の人権や人格が尊重される保育の実現に向けての対応は。

基本は保育所での国連の子ども権利条約の具体化である。

**答弁** 全国保

育士会のセルフチエックリストや国のガイドライン等の研修、職員会議の定例化を行います。

**質問** 一般廃棄物最終処分場の埋め立て完了



75名の子どもたちが通う第一保育所

説明を行い対応していきたいと考えています。

**質問** 旧雇用促進住宅跡地の活用は。

**答弁** 若者・子育て世帯向け住宅用地とし、20区画ほどの分譲を予定しています。

**質問** 1年でも早く実現できるように対応を。

**答弁** 支援機構と協議します。

**質問** 水郡線の存続に向けて、町の対応は。

**答弁** 今年は、沿線11市町村と連携してワーキンググループを開催し、通常利用と観光利用の観点から新たな施策を検討しています。また、ファンクラブの増員についても検討していきます。

**後の環境整備の考えは。**

**答弁** 令和13年3月に埋め立て期間が終了する予定のため、今後は施設組合及び構成町村との協議を進めるとともに、地元行政区への



質問者の動画が見られます

## Q 「産婦人科・小児科オンライン相談事業」導入目的は

# A 本町に産婦人科・小児科の医療機関がなく、長年、不安の声が寄せられている



ましこみちお 議員  
増子美知夫

◆「産婦人科・小児科オンライン相談事業」の導入

**質問** 導入後2か月余りが経過した現在の利用状況について。

**答弁** 運用開始から2か月間で87名の方に登録いただき、婦人科の相談が9件、小児科の相談が19件で合わせて28件です。

利用後のアンケートでは全員の方から「また利用したい」、「とても安心できた」などの声を頂いております。

**質問** 今後の事業展開の考えは。

**答弁** この事業をより多くの方に知っていただくため、子育て専用の情報提供に特化した子育てポータルサイト等、町のホームページに設置できないか検討しているところです。



産婦人科・小児科オンライン相談事業

◆新たな「石川町財政計画」

**質問** 財政計画に基づき町政運営に当たってきたと思うが、新たな「石川町財政計画」の策定について伺う。

**答弁** 健全な財政運営を維持しつつ、多様化する町民ニーズに対応し、継続的かつ安定的な町民サービスを提供

するため、歳入・歳出の見直しや各種財政指標を決算額ベースで推計しながら策定するものです。

**質問** 計画の策定にあたり、歳入確保・歳出抑制の具体的な方策は。

**答弁** 歳入確保については町税の確実な収納・自主財源の確保・国庫支出金の活用などを考えています。歳出抑制については、公民連携による公共施設の包括管理や行政のデジタル化による事務負担の軽減、交付税措置を考慮した地方債の活用などを進めます。

◆石川町第6次総合計画「後期基本計画」

**質問** 「後期基本計画」策定の考え方を伺う。

**答弁** 基本目標や施策の体系を継承するほか、町民ニーズを的確に把

握し、反映させていきます。

**質問** 町民意見の反映とその方策について伺う。

**答弁** 町民アンケートやパブリックコメント、若者ワーキンググループ、また振興計画審議会等に諮問しながら、策定したいと考えています。

**質問** 「策定委員会」の会長であり、総合的な立場である副町長の考えを伺う。

**答弁** コントロールすべき点を二点ほど考えています。

一点目は、町民アンケートを真摯に受け止めこの5年間のデータを定量的に分析する。二点目は、時代の潮流を見据え、草案の中にまとめられているか、この二点が私の任務と考えています。

# Q 町の「こども家庭センター」の設置時期は



質問者の動画が見られます

## A 令和6年4月の稼働を目指しております



いぬい はつみ  
**乾 初美** 議員

**質問** スクールソーシャルワーカーを配置できないか。

**答弁** 今はまだ検討まで至っておりません。

**質問** ハローワーク須賀川に、マザーズコーナーの設置を要望したり、石川地方職業相談室に、子ども連れでも来所しやすい環境を整備し、子育てに理解のある雇用情報の提供を行うよう働きかけをする考えは。

**質問** ガバメントクラウドファンディングへの取り組みは。

**答弁** 新たな取り組みとして、今後検討していきます。

### ◆ふるさと納税

**答弁** 要望があることは認識しております。今後、検討します。

**質問** 脱炭素社会と再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取り組みは。

**答弁** 体育施設や学校のLED照明への転換や公用車の電気自動車への計画的な導入を検討

### ◆脱炭素社会と再生可能エネルギーを活用した持続可能な町づくり

**質問** 官民連携による再生可能エネルギーを活用した電力の地産地消に向けての取り組みは。

**答弁** 官民連携で、防災拠点となる公共施設を対象に、太陽光発電システムの導入を検討しています。

**質問** 協議会等をつくり、町内の事業者、町民、有識者からご意見をいただきながら進めていく考えは。

**答弁** 地域特性を把握するためにも、意見交換を行う考えです。

**質問** 地球温暖化対策のための区域施策編の策定スケジュールは。

**答弁** 令和6年度中に策定する予定です。

討するほか、公共施設等に対する再生可能エネルギー導入について検討しています。

石川町のすべてのお礼の品

<p>安全ゴム長靴 PW1000ブラック [16007] - 靴くつ 安全 男女兼用</p> <p>31,000 円</p>	<p>ハイグリップゴム長靴 NHG2000ホワイト [16006] - 靴くつ 安全 男女兼用</p> <p>16,000 円</p>	<p>ハイグリップゴム長靴 NHG2000ホワイト [16005] - 靴くつ 安全 男女兼用</p> <p>16,000 円</p>
<p>女性用安全靴 LPMC10ブラック [16004] - 靴くつ 安全 女性用 転倒防止</p> <p>33,000 円</p>	<p>安全靴上靴 RT995防水反射 [16003] - 靴くつ 安全 ゴアテックス 転倒防止</p> <p>103,000 円</p>	<p>安全靴 WK310Lブラック [16002] - 靴くつ 安全 超軽量 男性用</p> <p>29,000 円</p>

ふるさと納税 返礼品なし 石川町

ラインナップが増えた町の返礼品



質問者の動画が見られます

# Q 井戸給水施設等整備事業の見直しを

## A 今後、補助事業の見直しを検討します



せや としかず  
瀬谷 寿一 議員

### ◆井戸給水施設等整備事業の見直し

**質問** この制度は、未給水区域に対して飲料水の安定的な確保のために作られたもので、

### ■石川郡出生数

	現人口	R4出生数	出生率
石川町	13,936人	48人	0.34%
玉川村	6,200人	33人	0.53%
平田村	5,468人	16人	0.29%
浅川町	5,904人	22人	0.40%
古殿町	4,437人	12人	0.27%
石川郡	35,945人	131人	0.36%

6年が経過している。限度額など、補助対象経費の見直しが必要だ。  
**答弁** 事業創設から6年が経過していることから、この間の実績をベースに補助内容の見直しを検討していきたいと思えます。

### ◆人口減少と広域行政の拡大

**質問** 第6次総合計画の人口推計と現状ギャップが大きい。

**答弁** 推計では、令和7年を1万4926人と見込んでいましたが、この4月には1万4050人になるなど、予想を上回る急速なスピードで減少しています。

**質問** 石川郡全体の出生数が減っている。令和4年度は、わずか131人だ。郡立中学校などを考えられるのか。

**答弁** 現在の学校教育法では、郡立の学校を建てるのは難しいと考えます。

**質問** 郡内町村職員による広域行政ワーキンググループ設置の提案をしてほしい。

**答弁** 石川地方町村会を窓口しながら、広域連携の事業について検討したいと考えています。

### ◆角田市、荒川区との交流推進

**質問** 小学校6年間で1回は角田市、荒川区との交流に参加する機会を作ってほしい。

**答弁** 角田市とは、公民館事業を通じて交流を行っている

いますが、14人しか参加していないので、参加枠を広げていきたいと思えます。

**意見** 荒川区とは防災協定を締結しており、平時の付き合いが大事だ。日暮里第3小学校と石川小は、姉妹校になっている。両自治体のために、子どもたちにつくってほしい。



2018年の荒川区日暮里第3小学校創立100周年記念交流



質問者の動画が見られます

# Q 森林伐採の成果は

## A 放射性物質の低減や拡散防止に効果を発揮



おぎ よしろう  
小木 芳郎 議員

### ◆ 林業の振興

**質問** 森林伐採の現状は。

**答弁** ふくしま森林再生事業の活用により、約107haの森林を整備し多面的機能を維持する事業を進めています。また、土壌の移動抑制を図る整備も行い、空間放射線量の約10%削減など効果を発揮しています。

**質問** 特用林産物生産の拡大に向けた取り組みは。

**答弁** しいたけ等の原木林となる広葉樹林の再生事業として、大字



立ヶ岡付近の森林伐採の様子

中田地内に約26haの広葉樹林を選定し、本年度は約6haを整備します。

**質問** 森林伐採時の安全対策は？

**答弁** 伐採及び造林計画の届出があった際には、石川町森林整備計画に適合する施業かを確認しています。

**質問** 治水対策と土砂流出防止については。

**答弁** ふくしま森マップにより、保安林や山



2050年カーボンニュートラルに貢献

腹崩壊危険地区、崩壊土砂流出危険地区、地すべり危険地区等の確認を行い、更に石川町地域防災計画を確認し山地災害防止対策を行っております。

**質問** 伐採に伴う公道整備については？

**答弁** ふくしま森林再生事業・広葉樹林再生事業では、町が委託業者と協議のうえ作業道を開設することもあります。また、公道を損傷させた際には原則、

事業者に原形復旧をお願いしています。

◆安全・安心につながるスクールバスの停留所の設置等

**質問** 保護者目線に立った停留所の設置とは。

**答弁** 毎年児童生徒数には変動があるため、必要に応じて設置場所を変更しています。

**質問** 通学バスの利用基準は。

**答弁** 通学距離が小学生では3キロ以上、中学生では4キロ以上としています。

中学生の利用については、基準の見直しを検討しています。

**要望** 安心・安全につながる保護者目線の子育て支援をお願いします。



質問者の動画が見られます

# Q 中学校の部活動地域移行は

## A 将来的には全ての部活動を学校から切り離すのが国の方針です



せや きょうこ 議員  
瀬谷 京子

児童クラブは希望者全員を受け入れ、施設は一か所が望ましい

### ◆中学校の休日部活動の地域移行

**質問** 本町の考え方は。

**答弁** 少子化の進展と教員の働き方改革の推進から、現在のような部活動の存続は困難になり、地域移行が必要になると思います。

**質問** 移行先は。

**答弁** 町内のスポーツ団体、文化芸術団体等と協議します。

**質問** いつから。

**答弁** 国は、5年度から3年間を移行期間とし令和7年度までに移行すべきとしています。

**質問** 今議会に89万5千円の予算が計上されているが、事業内容を伺う。

**答弁** 移行に向けた実証事業として、石川中管弦楽部が県内で唯一文化庁の指定を受けたもので、休日部活動を行う際に、石川フィルハーモニックから指導を受ける予定になっています。

**質問** 課題はあるか。

**答弁** 移行先、活動場所や指導者の確保、費用負担、環境整備など、課題は山積しています。

### ◆放課後児童クラブの改善策

**質問** 5年度の放課後

児童クラブ（以後児童クラブ）の利用者数は。

**答弁** 162名の利用申請があり、定員120名を大幅に超えたため利用者を136名としました。利用希望者が増えていることから指導員の増員、活動場所の確保に努めています。

**質問** 高学年の希望者が利用できず、保護者から心配や不公平を訴える声が多くあるが。

**答弁** 高学年を受け入れられなかったことは申し訳なく思います。夏休み期間中は高学年を受け入れます。

**質問** 高学年の希望者が利用できない状況については、令和3年9月議会です、早急に改善するよう求め、来春までに解決するとの答弁だったが、改善されていない。

**答弁** 高学年の利用希望者については、ファミリーサポートセンター事業の紹介や、夏休み期間中の受け入れに向け準備を進めています。

**質問** 部屋がないため希望者全員が利用できない。ほかの施設を検討しているのか。

**答弁** 利用者が増加すると140名から150名程度を受け入れる場所が必要ですが、現在、石川小には空き教室がないため、自治センター等の公共施設を活用して、地域で子どもを守り育てることも考えられます。

令和6年度までには解決したいと考えています。



石川放課後児童クラブ



質問者の動画が見られます

# Q 令和5年度の町道整備の計画は

## A 緊急性を鑑み実施していく



せきね しんじ 議員  
関根 信次

◆町道等の計画的な整備

【質問】 5年度の町道整備の計画は。

【答弁】 町道整備については、国県道を結ぶ主要幹線道路をはじめ、地域生活に密着した比較的交通量が多い路線や災害時の避難等の緊急性を踏まえた上で、進めることとなります。本年度予定している道路改良工事は、大内地内、母畑字藤扱沢地内、母畑字清水作地内、中田字大塚地内、双里字松作地内、曲木字広久保地内、塩沢字禿山地内の7路線であり、



町道213号(母畑字藤扱沢地内)

◆遊休農地の解消・活用

【質問】 遊休農地の現状

【答弁】 農業従事者の高

沢井字上ノ原地内と下泉地内については、道路拡幅工事に着手する予定です。

齢化や後継者不足により離農者が増えるとともに、遊休農地も増加傾向にあります。

【質問】 解消に向けた取り組みは。

【答弁】 遊休農地の解消については、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度を活

用し、草刈りや農地等の管理を行う集落ぐるみの活動を支援しています。また、今年度新たに創設した耕作放棄地解消支援事業により、農地の再生利用を支援します。

◆国営母畑地区総合農地開発事業償還金の負担軽減

【質問】 農産物価格の低迷や受益農家の高齢化などにより、償還が困難となる恐れがあるが、軽減策はあるか。

【答弁】 事業償還金に対する直接的な軽減策は実施していませんが、町としては、飼料や肥料高騰による農家への助成等を行い、新たに負担が増加しないよう努めています。また、関係機関と連携しながら農業収益の維持が図られるよう支援していきたいと考えています。

令和4年6月  
定例会より

あれがどうなった？

## 一般質問のその後は

## 部活動の地域移行

設計、建設を経て、令和7年度末までの開業を予定しています。

## 道の駅整備事業の進捗



道の駅木更津

### ①道の駅用地契約状況について

令和5年4月に、道の駅整備予定地で操業している事業者と物件移転補償契約を締結しましたので、令和5年度中に機械や建物など全ての構造物を撤去していただきます。また土地については今後、所有者の方と面積など詳細な確認を行い、令和6年4月に借地契約を締結する予定です。

### ②運営事業者との契約について

石川町の駅整備事業では、効率的で効果的な運営を目指すために民間事業者のノウハウや自由な発想を導入したいと考え、施設整備から運営までを担える事業者を全国から募集しました。石川町道の駅運営予定者選定委員会による審査を行い、令和5年3月に、全国で道の駅や類似施設の運営に実績のある民間事業者グループを優先交渉者として選定しました。今後は協定や契約を締結し、

少子化に伴い部活動の継続が困難になってきたことや教員の働き方改革の一環から、中学校の部活動を学校の代わりに地域のスポーツ・文化団体に委ねる地域移行に向けた実証事業を実施します。

●事業費 89万5千円  
(国庫事業であり、県内では石川町が唯一のモデル地区となります。)

子どもたちが将来にわたって活動を継続して取り組むことができる環境整備に向け、休日の部活動から段階的に進め、運営体制や指導員の確保、費用負担など、様々な問題を把握・検証し、地域の実情に応じた支援に取り組みます。

●事業概要 月2回、休日の部活動を地域の文化団体からの指導者によって活動します。

対象は、石川中学校管弦楽部で、移行先は石川フィルハーモニックの予定です。

対象は、石川中学校管弦楽部で、移行先は石川フィルハーモニックの予定です。





# 報告します 議会の活動

## 4年ぶりの親善交流



雨天のため、角田市総合体育館にて

5月8日、姉妹都市である宮城県角田市議会議員との親善交歓会が行われました。

新型コロナウイルス感染症により開催を見合わせておりましたが、今年4年ぶりに角田市を会場に室内グラウンドゴルフを行い、親睦を深めました。

## 伝わる議会報の企画と編集

6月27日、町村議会広報研修会が、とうほう・みんなの文化センターで開催されました。

石川町議会から広報常任委員が参加し、自治体広報広聴研究所 代表理事 金井茂樹氏より、広報紙づくりの技術を学びました。



## 自治功労表彰



福島県町村議会議長より、町村議会議員として11年以上在籍した功労者として、下山田和雄議員、草野伝明議長が表彰されました。長年の功績が認められ、6月定例会の最終日に伝達表彰が行われ、同僚議員から祝福の拍手が送られました。



# 未来に向かつて

・高校生の声

県立石川高校

3年 小林果楓 こばやしかへで

## 将来の夢とは



将来の夢とは「将来に実現させたいと心の中に思い描いている願い」あるいは、「未来に実現させたい理想のこと」という意味だそうです。

私の場合は、やりたいうことがありますが、実現させたい願いや理想がまだ見つかっていません。しかし、高校卒業後は自衛隊に入隊することを希望しています。

ます。試験に合格するために、私は勉強と体力づくりに力を入れています。勉強では、定期考査で毎回三位以内をキープしています。

私は、特に数学が得意で、実用数学技能検定準二級に合格しました。今は二級合格に向けて勉強しています。

また、高校一年時から自衛隊の筆記試験に向けて学習し、公務員模試を受けています。さらに、小学一年生の夏から約十一年間、水泳を続けています。小さなスイミングクラブで大会に出場し、最

優秀選手賞を取ることができました。今では、高校の大会で毎年県大会に出場しています。東北大会出場を視野に入れ、週に5回の練習に励んでいます。

将来に実現させたい願いや理想がまだ見つけれなくても、私はこれまで取り組んできたことが、たくさんあります。目の前の課題に真摯に取り込むことが将来につながると思っています。



第69回福島県高等学校体育大会 水泳競技 福島県大会

## 編集後記

盛夏の候、皆様いかが

お過ごしでしょうか。

今回号で、現在の広報常任委員会メンバーによる最終の「議会だより」発行となりました。

今までに、より魅力ある、また読んでもらえる紙面づくりを目指して、議会モニター制度を取り入れるなど、広聴にも積極的に力を入れてきました。

その中で意見の多かった表紙のレイアウトや議会だよりの文字につきましても、長年親しまれてきましたが、今回から刷新いたしました。

今後新しい紙面にご期待下さい。

菊池美知男

議会を  
傍聴しませんか  
9月定例会  
「一般質問」は  
10月2日(月)の  
予定です。

### 議会広報 常任委員会

委員長	菊池美知男
副委員長	乾 初美
委員	藤島 一浩
委員	根本 重泰
委員	瀬谷 寿一
委員	増子美知夫

## 議会インターネット中継

町議会では、本会議のライブ映像及び録画映像を配信しています。町ホームページを經由してYouTubeで視聴することができますので、是非ご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。

